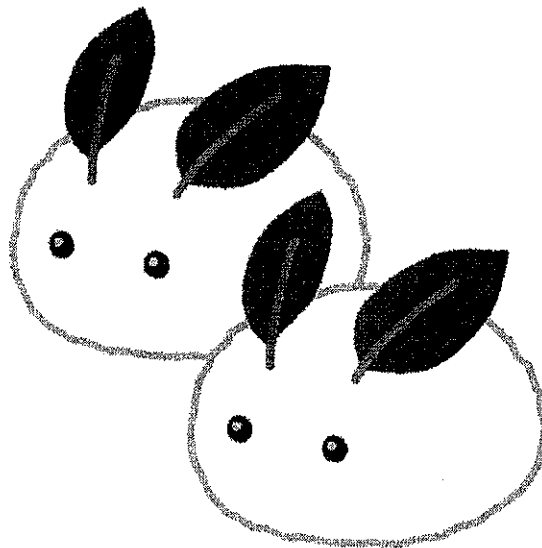




なかしん



景況レポート



2019年 冬
中兵庫信用金庫

No.140

経営企画部

第 140 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2019 年 12 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2019 年 12 月を調査時点とする 2019 年度第 3 四半期(2019 年 10 月～12 月)実績(12 月は予想)、及び 2019 年度第 4 四半期(2020 年 1 月～3 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	2019 年 12 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	430 先
有効回答数	425 先 (回答率 98.8%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	108	107
卸売業	37	37
小売業	106	103
サービス業	69	68
建設業	77	77
不動産業	33	33
合計	430	425

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市北区・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

業種別業況判断

① 製造業

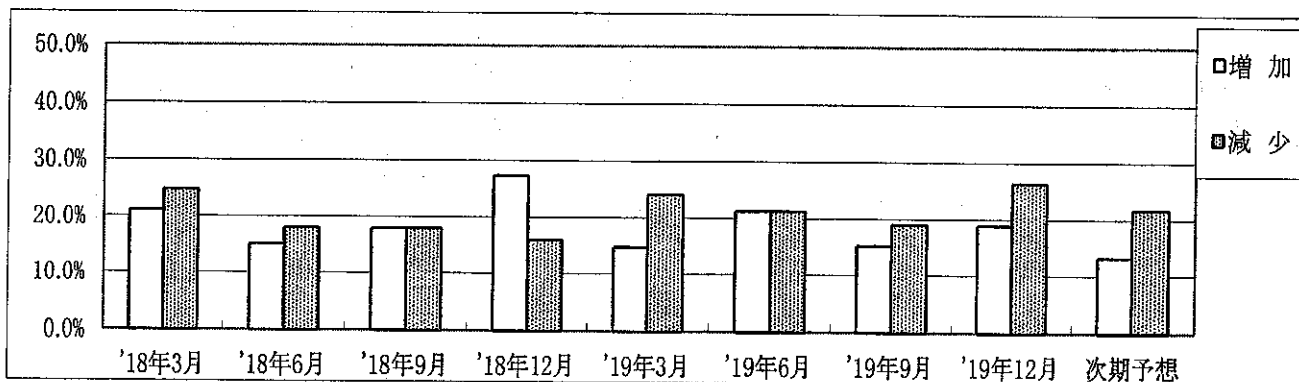
業況DIは前回調査より△14.1 ㊦減少し△14.1、生産販売DIは3.7 ㊦減少し△7.5、収益DIは2.7 ㊦減少し△11.3 と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは2.1 ㊦減少し△16.2、生産販売DIは1.0 ㊦減少し△8.5、収益DIは6.6 ㊦減少し△17.9 と全てにおいて悪化する見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

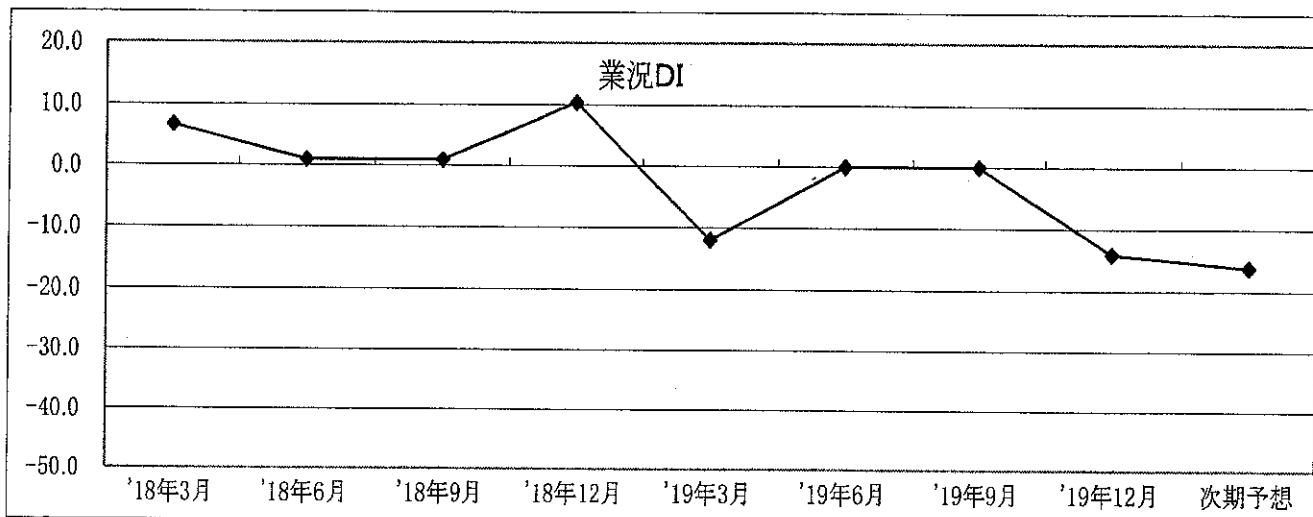
売上増減企業数の推移

	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
増加	21.0%	15.1%	17.9%	27.4%	14.8%	21.3%	15.2%	18.9%	13.2%
減少	24.8%	17.9%	17.9%	16.0%	24.1%	21.3%	19.0%	26.4%	21.7%
DI	△ 3.8	△ 2.8	0.0	11.4	△ 9.3	0.0	△ 3.8	△ 7.5	△ 8.5



業況DIの推移

年月	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
業況DI	6.7	0.9	0.9	10.4	△ 12.0	0.0	0.0	△ 14.1	△ 16.2



③ 小売業

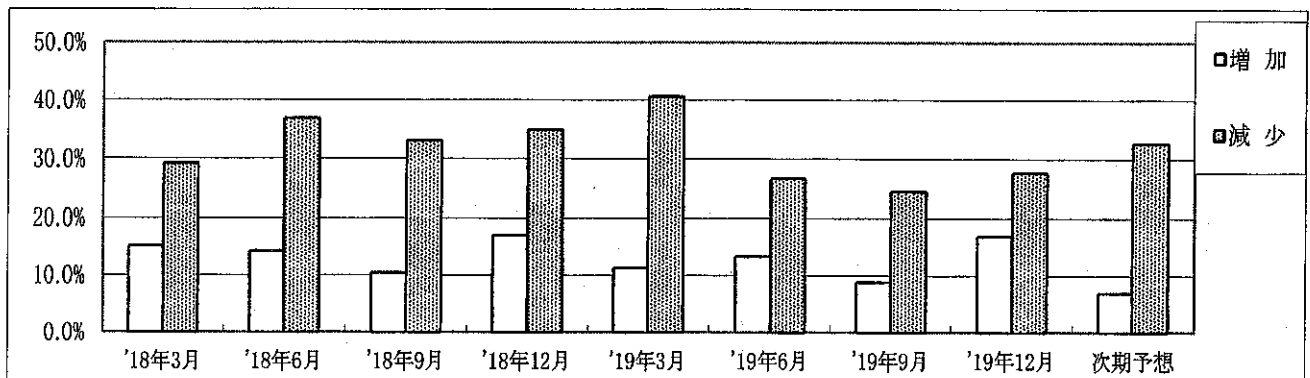
業況DIは前回調査より5.7ポイント増加し△19.8、生産販売DIは4.8ポイント増加し△10.9、収益DIは1.8ポイント増加し△15.9と全てにおいて改善した。

次期予想は、業況DIは3.0ポイント減少し△22.8、生産販売DIは14.9ポイント減少し△25.8、収益DIは11.9ポイント減少し△27.8と全てにおいて悪化する見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

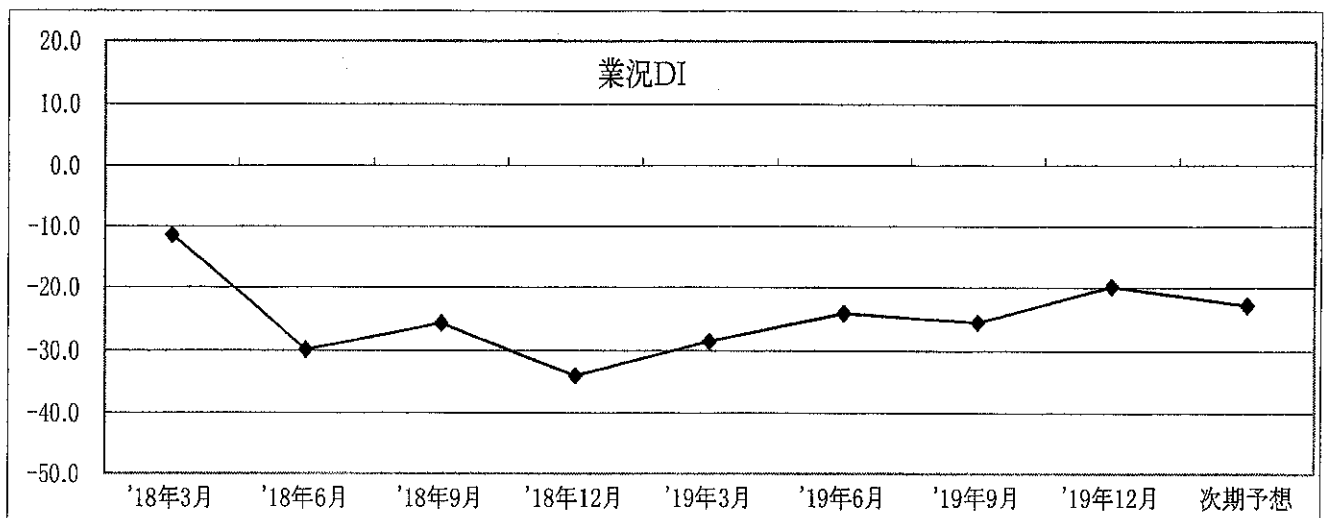
売上増減企業数の推移

	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
増加	15.1%	14.2%	10.4%	17.0%	11.3%	13.3%	8.8%	16.8%	6.9%
減少	29.2%	36.8%	33.0%	34.9%	40.6%	26.7%	24.5%	27.7%	32.7%
DI	△14.1	△22.6	△22.6	△17.9	△29.3	△13.4	△15.7	△10.9	△25.8



業況DIの推移

年月	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
業況DI	△11.4	△29.9	△25.7	△34.0	△28.5	△24.1	△25.5	△19.8	△22.8



⑤ 建設業

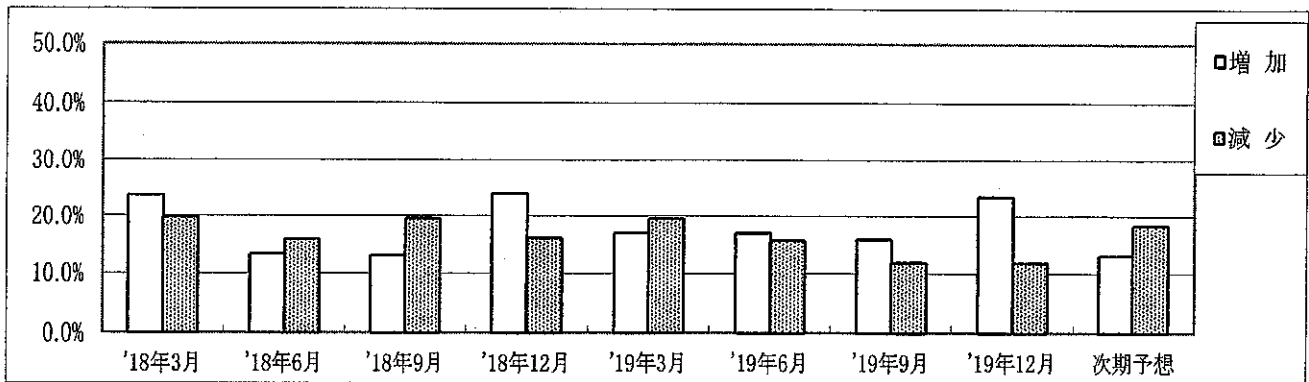
業況DIは前回調査より25.0ポイント増加し7.8、生産販売DIは7.7ポイント増加し11.7と改善したが、収益DIは2.6ポイント減少し0.0と悪化した。

次期予想は、業況DIは3.9ポイント減少し3.9、生産販売DIは16.9ポイント減少し△5.2と悪化する見通しで、収益DIは変わらず0.0という見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

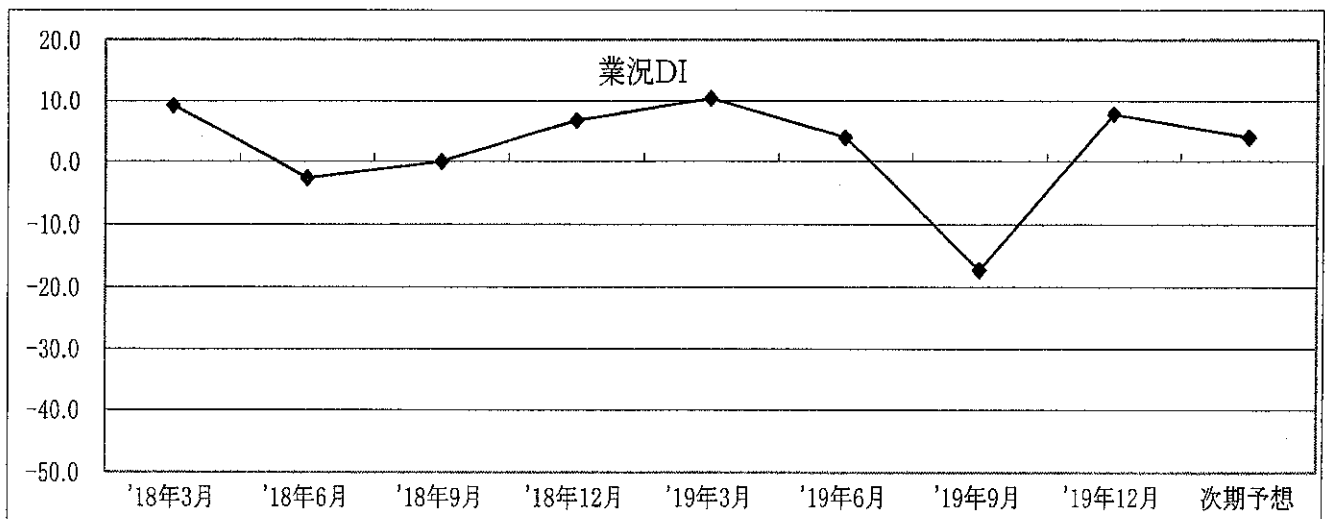
売上増減企業数の推移

	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
増加	23.7%	13.2%	13.0%	24.0%	16.9%	16.9%	15.8%	23.4%	13.0%
減少	19.7%	15.8%	19.5%	16.0%	19.5%	15.6%	11.8%	11.7%	18.2%
DI	4.0	△2.6	△6.5	8.0	△2.6	1.3	4.0	11.7	△5.2



業況DIの推移

年月	'18年3月	'18年6月	'18年9月	'18年12月	'19年3月	'19年6月	'19年9月	'19年12月	次期予想
業況DI	9.2	△2.7	0.0	6.7	10.4	3.9	△17.2	7.8	3.9

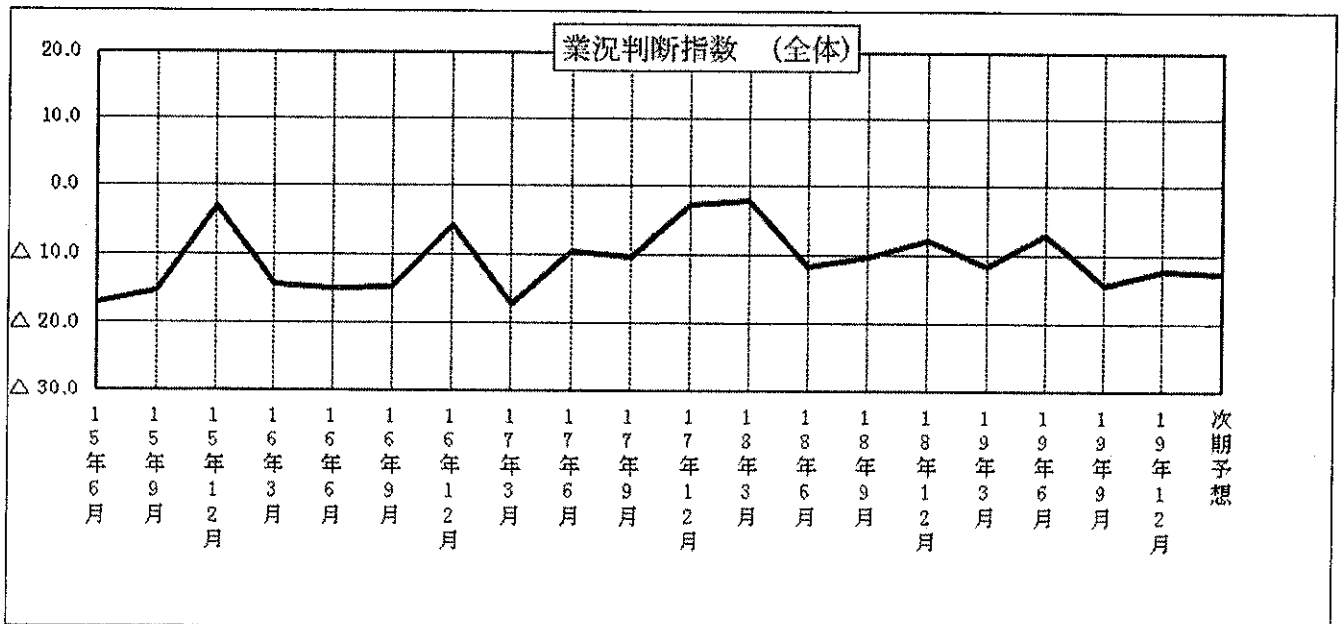


業況の推移

調査時点	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2018年	10~12月	14.6	63.0	22.4	△ 7.8
2019年	1~3月	14.9	58.5	26.6	△ 11.7
2019年	4~6月	13.8	65.2	21.0	△ 7.2
2019年	7~9月	10.9	63.8	25.3	△ 14.4
2019年	10~12月	11.9	64.0	24.1	△ 12.2
見通し	1~3月	10.6	66.1	23.3	△ 12.7

業種別業況(2019年10月~12月)

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	前回調査 D I	前年同期 D I	次回予想 D I
製造業		12.3	61.3	26.4	△ 14.1	0.0	10.4	△ 16.2
非製造業		11.8	64.9	23.3	△ 11.5	△ 18.9	△ 14.1	△ 11.5
(卸売業)		8.3	61.1	30.6	△ 22.3	△ 29.5	△ 11.8	△ 25.0
(小売業)		10.9	58.4	30.7	△ 19.8	△ 25.5	△ 34.0	△ 22.8
(サービス業)		10.6	62.1	27.3	△ 16.7	△ 10.2	△ 8.9	△ 6.1
(建設業)		18.2	71.4	10.4	7.8	△ 17.2	6.7	3.9
(不動産業)		6.1	78.7	15.2	△ 9.1	△ 12.2	△ 9.6	△ 9.4
全体		11.9	64.0	24.1	△ 12.2	△ 14.4	△ 7.8	△ 12.7



3. 収益状況

前回に比べ、収益が「増加した」とする企業が 4.3 ㊦増加、「減少した」とする企業は 2.9 ㊦増加し、D I は全体で 1.4 ㊦増加し△9.3 と改善した。

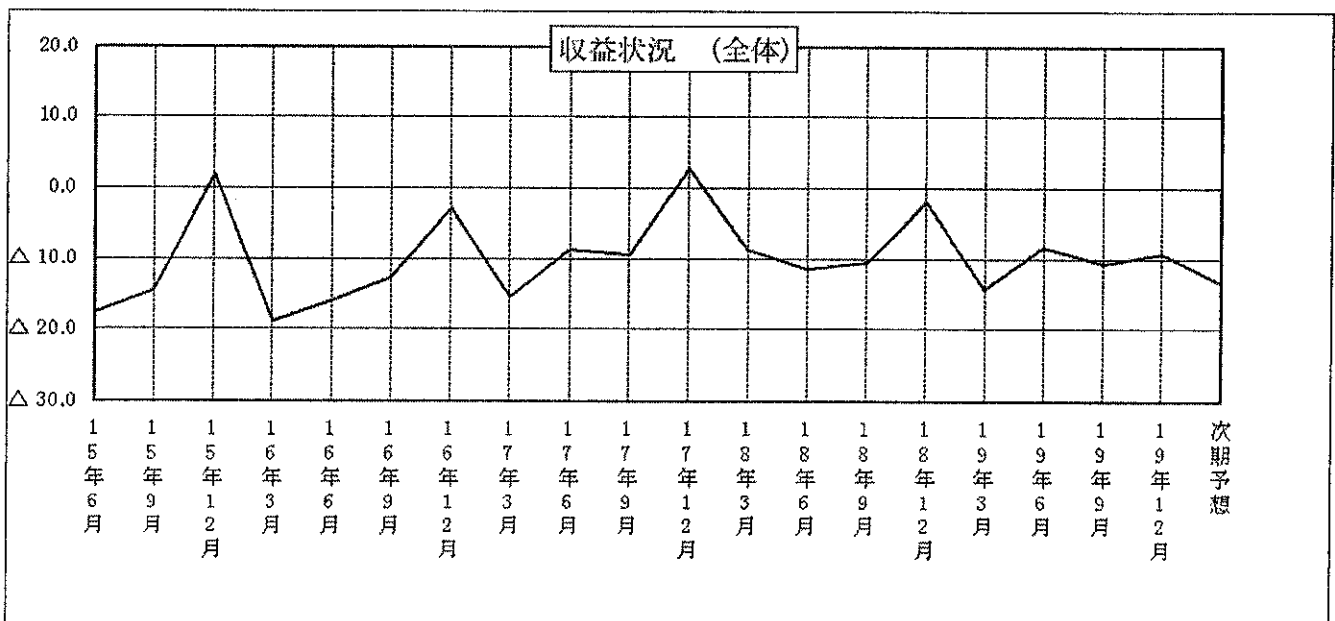
次回予想 D I は 4.1 ㊦減少し、△13.4 と悪化する見通しである。

収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2018年	10~12月	17.8	62.5	19.7	△ 1.9
2019年	1~3月	14.7	56.2	29.1	△ 14.4
2019年	4~6月	13.6	64.4	22.0	△ 8.4
2019年	7~9月	10.0	69.3	20.7	△ 10.7
2019年	10~12月	14.3	62.1	23.6	△ 9.3
見通し	1~3月	9.8	67.0	23.2	△ 13.4

業種別収益状況(2019年10月~12月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		13.2	62.3	24.5	△ 11.3	△ 8.6	△ 17.9
卸売業		13.9	58.3	27.8	△ 13.9	△ 20.0	△ 25.0
小売業		15.8	52.5	31.7	△ 15.9	△ 17.7	△ 27.8
サービス業		17.9	58.2	23.9	△ 6.0	△ 13.1	△ 3.0
建設業		14.3	71.4	14.3	0.0	2.6	0.0
不動産業		6.3	81.2	12.5	△ 6.2	△ 12.1	6.4
全体		14.3	62.1	23.6	△ 9.3	△ 10.7	△ 13.4



○販売価格

販売価格は「上昇した」とする企業は4.5 ㊦増加、「下降した」とする企業は0.8 ㊦減少しDIは全体で5.3 ㊦増加し6.9 と上昇した。

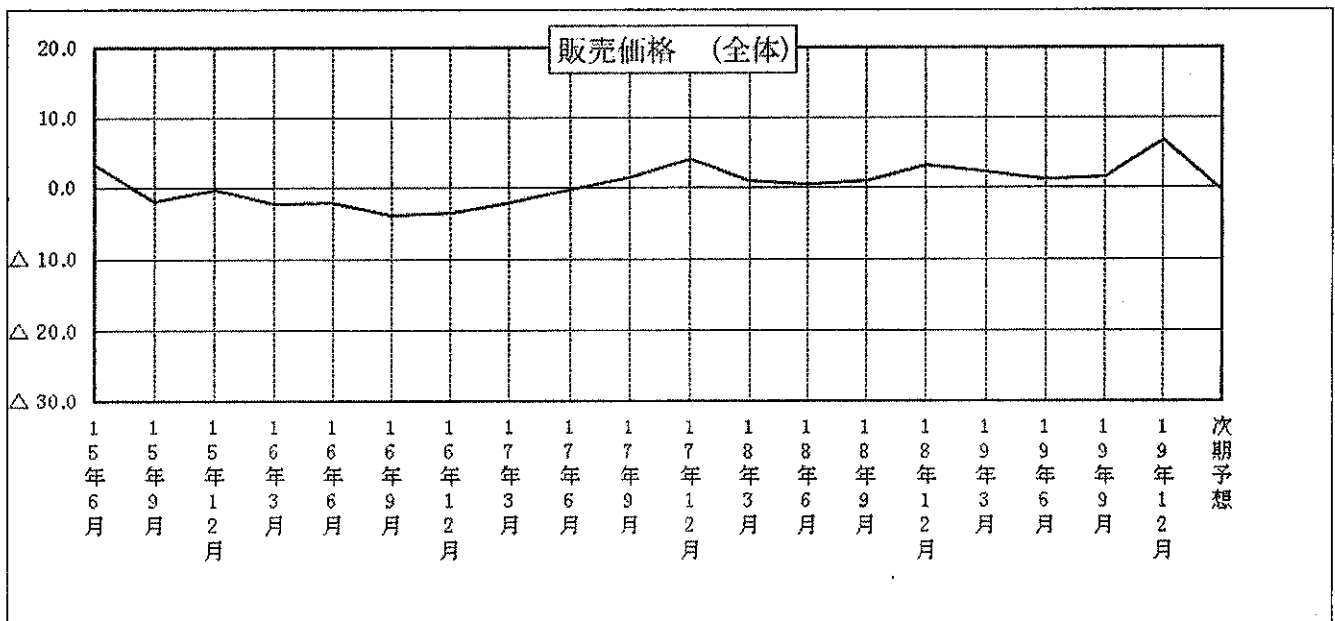
次回予想DIは、7.4 ㊦減少し△0.5 と下降する見通しである。

販売価格の推移

調査時点	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)
2018年	10~12月	7.4	88.3	4.3	3.1
2018年	1~3月	8.6	85.1	6.3	2.3
2019年	4~6月	6.8	87.6	5.6	1.2
2019年	7~9月	6.9	87.8	5.3	1.6
2019年	10~12月	11.4	84.1	4.5	6.9
見通し	1~3月	5.7	88.1	6.2	△0.5

業種別販売価格状況(2019年10月~12月)

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		4.7	91.5	3.8	0.9	0.9	△2.8
卸売業		13.9	75.0	11.1	2.8	5.7	△11.1
小売業		23.8	71.2	5.0	18.8	4.9	7.0
サービス業		7.5	92.5	0.0	7.5	4.4	0.0
建設業		11.7	85.7	2.6	9.1	0.0	0.0
不動産業		0.0	87.9	12.1	△12.1	△12.1	△6.3
全体		11.4	84.1	4.5	6.9	1.6	△0.5



5. 雇用面の動き

○残業時間

前回に比べ「増加した」とする企業は 0.2 割増加、「減少した」とする企業は 1.4 割減少、D I は全体で 1.6 割増加し△1.2 となった。

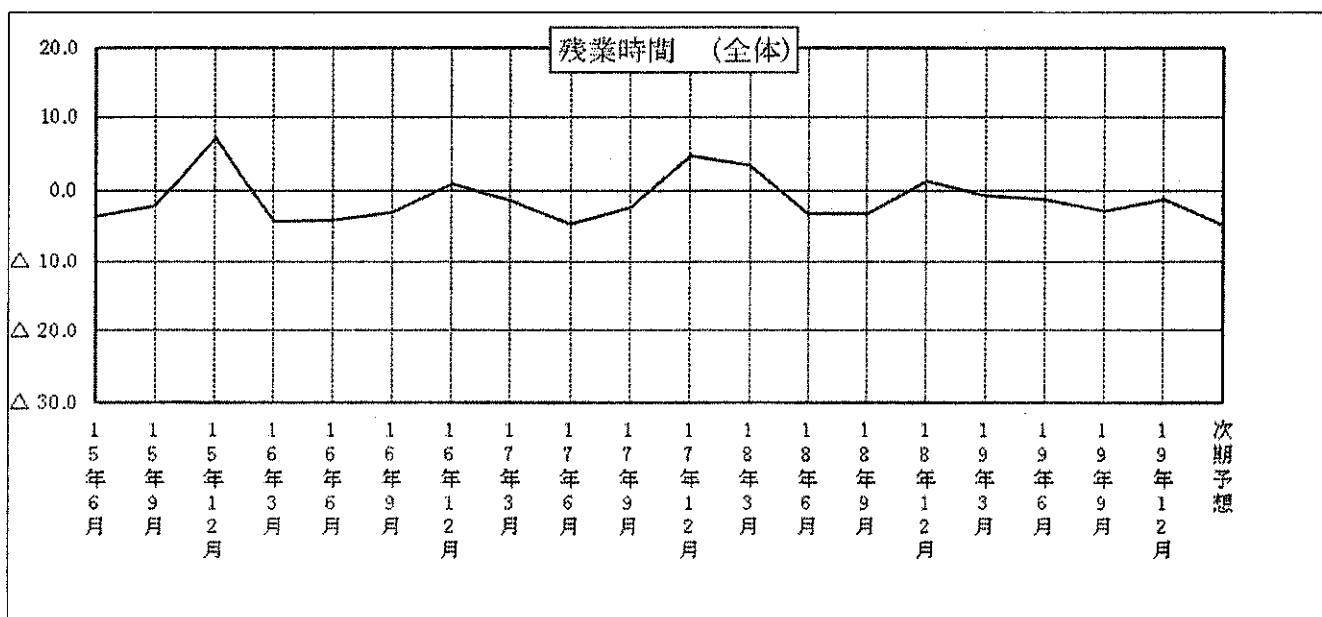
次回予想 D I は全体で 3.6 割減少し、△4.8 となる見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2018年	10～12月	8.8	83.8	7.4	1.4
2019年	1～3月	9.1	81.1	9.8	△0.7
2019年	4～6月	10.6	77.6	11.8	△1.2
2019年	7～9月	7.4	82.4	10.2	△2.8
2019年	10～12月	7.6	83.6	8.8	△1.2
見通し	1～3月	4.1	87.0	8.9	△4.8

業種別残業時間状況(2019年10月～12月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.4	78.3	11.3	△0.9	△11.4	△12.3
卸売業		14.3	68.6	17.1	△2.8	0.0	△17.1
小売業		3.0	90.1	6.9	△3.9	△1.0	△1.0
サービス業		10.4	76.2	13.4	△3.0	△2.9	△1.4
建設業		7.8	88.3	3.9	3.9	2.6	1.3
不動産業		0.0	100.0	0.0	0.0	3.1	0.0
全体		7.6	83.6	8.8	△1.2	△2.8	△4.8



6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、多くの業種で「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占め、「人手不足」とする回答も多い。

当面の重点経営施策では、殆どの業種で「販路を広げる」、「経費を節減する」が1位、2位を占めたが、「情報力を強化する」が不動産業で1位、「品揃えを改善する」が小売業で2位となった。

経営上の問題点

(複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	37.7	人手不足	28.3	同業者間の競争の激化	19.8	工場・機械の狭小・老朽化	14.2
卸売業	売上の減少・停滞 同業者間の競争の激化	30.6			人手不足	22.2	輸入品との競争の激化 利幅の縮小	13.9
小売業	売上の停滞・減少	50.0	同業者間の競争の激化	28.0	大型店との競争の激化	23.0	商圏人口の減少	17.0
サービス業	同業者間の競争の激化	38.8	売上の停滞・減少	28.4	人手不足	25.4	商圏人口の減少	22.4
建設業	人手不足	41.6	同業者間の競争の激化	40.3	売上の停滞・減少	20.8	下請の確保難	19.5
不動産業	同業者間の競争の激化	48.5	商品物件の不足	27.3	売上の停滞・減少	21.2	利幅の縮小	18.2

当面の重点経営施策

(複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	販路を広げる	52.8	経費を節減する	48.1	人材を確保する	30.2	新製品・技術を開発する	18.9
卸売業	販路を広げる	50.0	経費を節減する	41.7	情報力を強化する	27.8	人材を確保する	19.4
小売業	経費を節減する	56.0	品揃えを改善する	32.0	宣伝・広告を強化する	23.0	売れ筋商品を取扱う	17.0
サービス業	販路を広げる	47.8	経費を節減する	44.8	教育訓練を強化する	22.4	情報力を強化する	20.9
建設業	販路を広げる 経費を節減する	42.9			人材を確保する	37.7	技術力を高める	26.0
不動産業	情報力を強化する	56.3	販路を広げる	34.4	宣伝・広告を強化する	31.3	経費を節減する 特になし	12.5

問1. 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. 非常に良い | 4. 普通 | 5. やや悪い |
| 2. 良い | | 6. 悪い |
| 3. やや良い | | 7. 非常に悪い |

業種	回答No.	1	2	3	4	5	6	7	合計
製造業		0	1	11	44	42	8	1	107
卸売業		0	1	3	19	11	3	0	37
小売業		0	0	7	39	48	8	0	102
サービス業		0	0	8	29	22	6	1	66
建設業		0	0	5	48	21	2	0	76
不動産業		0	0	3	17	8	3	0	31
合計	回答者数	0	2	37	196	152	30	2	419
計	回答割合	0.0%	0.5%	8.8%	46.7%	36.3%	7.2%	0.5%	100.0%

問2. 貴社では、2020年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. 非常に良い | 4. 普通 | 5. やや悪い |
| 2. 良い | | 6. 悪い |
| 3. やや良い | | 7. 非常に悪い |

業種	回答No.	1	2	3	4	5	6	7	合計
製造業		0	1	10	58	31	7	0	107
卸売業		0	1	2	18	11	5	0	37
小売業		0	2	3	47	42	8	0	102
サービス業		0	0	2	45	16	3	0	66
建設業		0	0	7	48	20	1	0	76
不動産業		0	0	1	23	7	0	0	31
合計	回答者数	0	4	25	239	127	24	0	419
計	回答割合	0.0%	1.0%	6.0%	57.0%	30.3%	5.7%	0.0%	100.0%

問5. 10月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

見通しより良い影響

1. ポイント還元制度
2. 食品等の軽減税率
3. 自動車・住宅等の各種税制優遇措置
4. 特需の発生
5. その他

見通しと変わらない

6. 変わらない

見通しより悪い影響

7. 売上の減少
8. 利幅の縮小
9. 事務負担の増加
0. その他

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	合計
製造業		1	1	0	0	0	86	10	8	1	0	107
卸売業		1	0	0	0	0	30	3	3	0	0	37
小売業		0	0	1	0	0	70	18	9	2	0	100
サービス業		0	0	2	1	1	50	7	3	2	0	66
建設業		0	0	1	0	0	68	4	2	1	0	76
不動産業		0	0	1	0	0	28	2	0	0	0	31
合計	回答者数	2	1	5	1	1	332	44	25	6	0	417
計	回答割合	0.5%	0.2%	1.2%	0.2%	0.2%	79.6%	10.6%	6.0%	1.5%	0.0%	100.0%

「2020年（令和2年）の経営見通し」のまとめ

（景気動向調査の有効回答先から調査したものです）

1. 2020年の日本の景気をどのように見通しているかでは、「普通」が46.7%で最も多く、次いで「やや悪い」が36.3%、「やや良い」が8.8%となった。
「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の合計が44.0%と、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」の合計9.3%を大きく上回った。
2. 2020年の自社の業況（景気）については、「普通」が57.0%で最も多く、次いで「やや悪い」が30.3%、「やや良い」が6.0%となった。
「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の合計が36.0%と、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」の合計7.0%を大きく上回った。
3. 自社の2019年に比べた売上額の伸び率は、「変わらない」が59.5%と最も多く、次いで「10%未満の減少」が19.4%、「10%未満の増加」が10.1%となった。
減少する見通しと回答した合計は25.1%と、増加する見通しと回答した合計15.4%を上回った。
4. 自社の業況が上向き転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が41.8%と最も多いが、「すでに上向いている」とした事業所も10.3%あった。1～3を回答した事業所が29.1%を占めた。
5. 消費税増税の影響については、「変わらない」が79.6%と最も多かった。悪い影響を受けていると回答した事業所は18.1%と、良い影響を受けていると回答した事業所の2.3%を大きく上回った。